

# 第3回みよし未来環境会議

## フィールドワーク かかわらん

2023年10月14日 (土) 9:00~17:30

会場 株式会社Beemonteはちみつ工房、向江田浄水場、Vinoble Vineyard & Winery

参加者 神田日向、谷藤拓真、梅木亮汰、岩倉伊吹、兒櫻浩介、下岡快成、井上海太

欠席者 白根瑞紀

講師 光源寺毅寿(株式会社Beemonte)  
吉岡英二(株式会社ウォーターエージェンシー)  
生原誠之(生原商店)  
横町崇(株式会社Vinoble Vineyard)

第3回みよし未来環境会議では三次の風土に根ざした仕事をしている方を訪れ、活動内容や思いを伺う「地元学」をしました。今回伺った場所は3か所でした。1か所目は養蜂業を営む株式会社Beemonteのはちみつ工房、2か所目は浄水の過程で出るミネラルたっぷりの泥を活用した瀨織を作る向江田浄水場、3か所目は環境に配慮して栽培したブドウでこだわりのワインを作るVinoble Vineyard & Wineryです。サステナアンバサダーたちはそれぞれの場所でミツバチ、水と瀨織、ワインについて、実際に作っている所を見学したり、それぞれの仕事や三次の未来に対する思いを聞いたりして、三次ならではの持続可能な未来像のヒントを得ることができました。



虫、川、土、細菌。私たちが忘れがちな生命のつながりを見つめ、育む方々。三次の未来環境の生命線を守っていらっしゃいます。

事務局 藤山氏より



### 「一大養蜂都市」三次

三次には技術力の高い大規模の養蜂家が多くいる。ミツバチは食料、水、空気など身の回りのあらゆることに関わっている大切な生き物。



### 汚泥じゃなくて「瀨織」

浄水の過程で出る泥はミネラルをたっぷり含んでいる。昆虫や植物が、廃棄するはずの泥に集まる様子から「瀨織」が発見された。



### 伝統の知恵「コンポスト」

間伐材でできた箱に「瀨織」、粃殻、葎などの廃材を入れ、そこへ食物残渣など廃棄物を入れると『全て繋がりに、土へと還っていく』。

10:00

13:30

15:05

17:00



### 浄水場見学

馬洗川の水が私たちの水道から出るまでの工程を知ることができた。浄水場で菌や臭いを消してくれるから安心して水道水を飲むことができる。



徳本さん

### 技術と思いを未来へ伝える

徳本さんの持続可能な技術と熱い思いを未来へ伝えるために「瀨織」という商品が生まれた。土壌改良と水質浄化に効果がある。

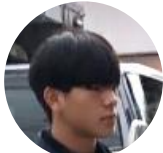


### 環境に優しいワイン

「瀨織」、木の皮、食物残渣、剪定枝といった廃材を活用して良い土を作り、微生物の力を借りてワイン用のブドウを栽培している。

## サステナアンバサダーから一言

※欠席者は後日フォローを行い、当該回の内容についてコメントをいただくようにしています。



神田さん

どの人も自然について考えていて、その考えは三次だからこそできたのではないかと思います。



谷藤さん

いろんな人が熱い「想い」で取り組んでいることを僕は伝えていきたいと思いました。



白根さん

自然を生かした取り組みで、蜜蜂などまだ知らないものがあったら驚いた。これからはもっと知りたい。



梅木さん

自分にできることから、農薬不使用や地元産の野菜を買うなど、行動の第一歩を踏み出してみようと思った。



岩倉さん

共通点は「観察力」でした。1つのものに集中して諦めず、最後まで観察し続けることが大切だと分かりました。



兒櫻さん

今まで知らなかった文化を知ること、この町の魅力をもっと感じるようになりました。



下岡さん

全てのことが繋がっていると分かりました。1つでも崩れるといけないので守っていききたいです。



井上さん

どの企業もSDGsに取り組んでいること、企業がお互いに支え合っていることを学ぶことができました。

※「サステナアンバサダー」とは、みよし未来環境会議に参加している市内の中学校、高校に通う生徒8名のことです。